

甲賀圏域 水害・土砂災害に強い地域づくり協議会 第4回協議会 報告

日時：平成28年3月9日（水）14:00～16:10

場所：水口サントピア 共同福祉施設 教養文化室

本協議会は、甲賀圏域の2市（湖南市・甲賀市）が国・県とともに、専門的な学識経験等に基づく助言を受けながら、野洲川、杣川、大戸川等の洪水被害や土石流危険渓流等からの流出土砂による被害を回避・軽減するための対策を協議し、自助・共助・公助のバランスのとれた地域防災力の再構築を図ることを目的としています。

1.開 会

会長の正木副市長（甲賀市）より、「当協議会は平成22年度に発足し6年目を迎えるが、その間、平成25年台風18号による被災、先般の鬼怒川における被災など毎年のように水害・土砂災害が発生する中で、国土交通省から“水防災意識社会再構築ビジョン”が発表され、リスク情報の周知、事前行動計画作成、訓練の促進などの住民目線に立ったソフト対策の重要性が指摘されている。これらは本協議会でも取り組んできた内容でもあり大変心強い。2市での活動をさらに広げていき、水害・土砂災害による被害を軽減したい。」との挨拶をいただきました。



2.主な議事

■協議会規約の更新について

協議会規約（改正案）の説明を行い、改正案のとおり承認をいただきました。

■これまでの取組内容と今後の検討内容(案)について

事務局説明

(1)当協議会のこれまでの経緯

平成22年に協議会が組織されてから、協議会、担当者会議、防災情報WG、水害に強い地域づくり計画WG、土砂災害に強い地域づくり計画WGでの取り組みの概略について報告しました。

(2)浸水警戒区域の指定を踏まえた重点地区での取り組みについて

甲賀圏域における重点地区での現在の取り組み状況を報告しました。

重点地区の一つである黄瀬地区での平成27年度の取り組みとして、まち歩きの実施状況、

避難についての話し合い状況、避難計画の検討状況、浸水警戒区域指定に関する取り組み状況を報告し、今後の取り組みとして、避難計画（素案）についてのさらなる検討、避難訓練の実施、浸水警戒区域（素案）内の土地所有者・居住者を対象にした浸水警戒区域指定に関する説明会実施を提案しました。

(3) その他の地区での住民 WG の取り組みについて

その他の地区での取り組みとして、水害に強い地域づくり計画 WG では、三雲地区での雨量と水位の観測、簡易量水標の設置（荒川）、柑子袋地区での簡易量水標の設置（落合川）、出前講座の開催等について報告しました。今後の取組として、三雲地区での雨量と水位のデータ蓄積及び簡易予測の検討等を提案しました。

土砂災害に強い地域づくり計画 WG では、湖南省ハイウェイサイドタウン地区でのまち歩き、避難訓練の実施、防災マップ（案）・避難計画書（案）の更新等の取組結果について報告するとともに、今後は、年度内に地区別防災マップ・地区別避難計画の印刷及び配布を行う予定であることを説明しました。

質疑応答・意見交換

各委員から様々な意見が出ました。以下に主な意見を示します。

- 重点地区のうち取り組みが開始していない地区についても、再度意向確認をしてはどうか。
- 平成 25 年台風 18 号の被害もあり、甲賀圏域の住民は防災に対する意識が高い。重点地区での取り組みについて各地区に意向確認したところ、ぜひ進めてほしいという声が多かった。市は住民の生命と財産を預かっているため、重点地区での取り組みについては積極的に取り組んでいきたい。
- 避難カードは誰がバージョンアップしていくかということと、避難カードに記載した個人情報の取り扱いには十分留意する必要があると考える。
- 流域治水における「そなえる」の取組では、水害履歴調査を行ったうえで各種取組がなされているが、土砂災害に関する地区別防災マップ作成等の取組においても災害履歴調査を行ってはどうか。
- 湖南省ハイウェイサイドタウン地区の取り組みは良い取り組みである。今後は、アフターフォローと他地区への展開が重要と考える。
- 平成 26 年 4 月施行の改正災害対策基本法では、住民が“地区防災計画”を提案できるとされており、地区防災について今後も意見交換していくことがよいと考える。
- 先日開催された地区防災計画学会の大会に参加したが、津波リスクの高い地区で“地区防災計画”を策定しようとしているところがある。こうした動静を見ながら地区防災計画について検討いただければよいと考える。



結 果

これらの意見を踏まえつつ、下記のとおり実施していくこととなりました。

- ① 重点地区のうち回答をいただいていない地区については、3月中に県が再度意向確認を行う。
- ② 避難カードについては、将来的には自治会、自主防災組織等に引き継ぐことを検討する。また、避難カードの個人情報については、地区ごとに事情は異なるが、黄瀬地区に関しては家で持つバージョンと地域に配布するバージョンを分けることを検討する。
- ③ 三雲地区では雨量と水位の観測を継続する。柑子袋地区では地域主導の活動を支援していく。
- ④ 土砂災害履歴調査に関するご意見について、今後の参考にさせていただく。
- ⑤ 湖南省ハイウェイサイドタウン地区の取り組みでは、地区にて防災マップや避難計画をメンテナンスしやすいように住民WGを進めてきているが、今後必要に応じてアフターフォローを行っていく。また、他地区への展開については、県内に土砂災害の危険な箇所が約5千箇所あることも考慮し、例えばあまり日数をかけないで防災マップを作成する方法により取り組みを広めていくことも検討する。

■市の取組紹介

(1)土砂災害パトロールについて（甲賀市）

甲賀市から、土砂災害警戒区域・特別警戒区域及び地すべり防止区域を対象とした土砂災害パトロール実施結果（平成27年6～7月）についての紹介がありました。

(2)湖南省総合防災訓練について（湖南省）

湖南省から、風水害を想定した総合防災訓練の実施結果（平成27年10月4日）についての紹介がありました。

3.情報提供

滋賀県砂防課から、「滋賀県土木防災情報システム（SISPAD）の機能向上について～土砂災害降雨危険度（メッシュ情報）の画面の視認性の向上～」の情報提供を行いました。

以上